



平成 20 年 10 月 15 日

各 位

会 社 名 オリコン株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 小池 恒
 (コード番号 4 8 0 0 大阪へラクレス市場)
問い合わせ先 執行役員企業広報部長 日高輝明
 T E L 03-3405-5252 (代表)

平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 7 月 28 日に公表いたしました平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,410	150	110	248	1,586 円 32 銭
今回修正予想 (B)	2,433	227	163	268	1,713 円 80 銭
増減額 (B-A)	23	77	53	20	—
増減率 (%)	1.0%	51.3%	48.2%	8.1%	—
(ご参考) 平成 20 年 3 月期中間期実績	2,974	75	15	△620	△3,970 円 71 銭

2. 修正の主な理由

現在、当社グループにおいては、WEBメディア事業と着うたフル[®]配信サービスが収益拡大のけん引役となっています。

WEBメディア事業については、「Yahoo! JAPAN」および「mixi」への当社グループのエンタテインメント系ニュース提供を継続的に強化したことによって当社グループサイトへのユーザー誘導が促進され、WEB広告の販売が好調に推移し、第 1 四半期に引き続き、第 2 四半期も計画を上回る見込みとなりました。

着うたフル[®]については、売上の増加が第 2 四半期に入って顕著となり、さらに 9 月からはユニバーサル ミュージックおよびエイベックスの楽曲が加わったことも影響して、期初の計画を上回る見込みとなりました。

以上のことを主な要因として、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は、予想数値を 23 百万円上回り、2,433 百万円となる見込みです。また、営業利益は予想数値を 77 百万円上回る 227 百万円、経常利益は予想数値を 53 百万円上回る 163 百万円となる見込みです。

3. 平成 21 年 3 月期通期の連結業績予想について

第 3 四半期以降についても、現状において景気後退の影響を受けておらず、堅調に推移しております。平成 21 年 3 月期通期の連結業績予想については、現在、精査を行っており、平成 20 年 11 月 11 日に予定している第 2 四半期決算発表時に公表する予定です。

(ご参考) 平成 21 年 3 月期通期の業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
平成 21 年 3 月期通期予想	5,100	430	350	384	2,456 円 24 銭
(ご参考) 平成 20 年 3 月期通期実績	5,824	190	53	△600	△3,844 円 23 銭

4. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間の個別業績見込みについて

当社は個別の業績予想数値を開示しておりませんが、平成 20 年 3 月期中間期の実績値と平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間の見込み数値との間に差異が生じる見通しですので、以下のとおりお知らせいたします。

①第 2 四半期累計期間個別業績見込み数値と実績値との差異 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
平成 20 年 3 月期中間期実績 (A)	406	147	117	△214	△1,371 円 38 銭
平成 21 年 3 月期第 2 四半期 累計期間見込み (B)	296	32	△26	125	799 円 35 銭
増減額 (B-A)	△110	△115	△143	339	—
増減率 (%)	△27.1%	△78.2%	—	—	—

②第 2 四半期累計期間個別業績見込み数値と実績値との差異が生じる理由

当社は純粋持株会社であり、当社の営業収益は連結子会社からの経営指導料、配当金、業務委託費で構成されています。平成 21 年 3 月期においては、連結子会社からの経営指導料および配当金に平成 20 年 3 月期との差異が生じることから、当社の営業収益、営業利益、経常利益に差異が生じる見通しであります。また、四半期純利益につきましては、平成 20 年 3 月期中間期では事業撤退損失 267 百万円等の特別損失を計上しておりましたが、平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間ではその要因がなく、かつ平成 21 年 3 月期第 1 四半期に子会社株式売却益 160 百万円を特別利益として計上したことによって差異が生じる見通しであります。

(注) 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後の様々な要因により異なる場合があります。

以上